

事務事業名		水洗化改造資金融資あっせん事業 (漁業集落排水施設)		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	0:2: 自然豊かな環境の保全と創造		事業期間		予算科目				
	施策名	0:5: 環境の保全と共生								
	基本事業名	0:2: 港湾・河川環境の保全		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成17 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 ↓ 全体計画欄の総投入量を記入		会計	款	項	目	事業
根拠法令		浄化槽法、地方自治法、市条例・規則		17	01	01	01	03		
所属	部課名	都市整備部 下水道事業所								
	係名	普及係	電話 内線	0192-27-3111 201						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(期間限定複数年度のみ)						
水洗化改造資金利子補給事業 市民が借りた下水道接続工事費の借入金のうち利息分を補給する事業 A、申請受付 B、内容審査 C、書類作成、文書交付 D、金融機関の融資決定後利息計算、E、金融機関から利息の請求(年2回) F、請求額の審査 G、支払い(年2回)。水洗化改造資金の金融機関へのあっせん及び利子の補給を行う。(排水設備工事審査検査) 新たに排水設備を設置し下水道に接続する際の工事内容の審査、検査 A工事申請受付、B必要書類確認、C工事内容審査必要なら改善指示、D確認通知、E工事検査必要なら改善指示、F簿冊へ綴る 事業費なし				総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金				
						都道府県支出金				
						地方債				
						その他				
						一般財源				
						事業費計(A)	0			
人件費	正規職員従事人数									
	延べ業務時間									
	人件費計(B)	0								
					トータルコスト(A)+(B)		0			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
排水設備設置者に対し改造資金の融資・あっせんを実施。排水設備工事審査検査		ア	改造資金の融資・あっせん件数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	排水設備工事件数
前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
供用開始地区内における未水洗化家屋の自然人、法人(利子補給は事業所除く)		名称	
		単位	
		カ	排水設備工事件数
		キ	処理区域内面積
		ク	ha
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
自然人、法人に排水設備工事を行わせることにより、水洗化率の向上を図る。		名称	
		単位	
		サ	水洗化率 = 水洗化人口 / 対象人口 × 100
		シ	%
		ス	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
湾内(三陸町除く)の水質の保全を図る。地域の環境衛生の向上を図る。公共水域等の水質の保全等の観点から浄化槽によるし尿及び雑排水の適正な処理を図り、もって生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とする。(浄化槽法1条)			

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(目標)	22年度(目標)	
		単位							
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	10	31	231	277	462	515
		一般財源	千円						
	事業費計(A)		千円	10	31	231	277	462	515
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	2	1	2	2
		延べ業務時間	時間	10	10	238	119	238	238
		人件費計(B)	千円	40	40	952	476	952	952
	トータルコスト(A)+(B)		千円	50	71	1,183	753	1,414	1,467
活動指標	ア	件	1	2	12	19	10	10	
	イ	件	29	18	60	26	40	40	
	ウ								
対象指標	カ	件	29	18	60	19	30	30	
	キ	ha		50.1	60.4	77.4	78	78	
	ク								
成果指標	サ	%	51.0	52.9	54.9	51.9	55	60	
	シ								
	ス								

事務事業ID	1154	事務事業名	水洗化改造資金融資あっせん事業 (漁業集落排水施設)
--------	------	-------	-------------------------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 漁業集落排水事業自体は三陸町は平成元年吉浜根白、平成16年度綾里小石浜、平成17年度砂子浜、平成18年度千歳でそれぞれ使用開始。赤崎町蛸ノ浦では平成17年度に使用開始がなされた。ただし三陸町は施設整備分担当として使用開始前に徴収していたのに対し、蛸ノ浦は、排水設備工事を行ってから加入負担金に関する条例を整備し開始。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 融資あっせん件数は千歳地区の使用開始とともに増加している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 融資あっせんに対する利子補給ばかりではなく、工事費に対する補助制度も考えたらどうかという意見が出されている。	

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] → 下水道事業に伴う水洗化改造資金融資あっせん・利子補給制度は、下水道法に定められており、実際に多くの自治体でも取り入れられているが、集落排水に対する融資あっせん利子補給は不明である。しかし工事費負担の軽減を図ることにより設備工事の早期着手が見込まれ、水洗化率の向上に結びつく。また、同一市内で公共下水道事業と漁業集落排水事業という類似した事業間で制度が異なるのは、不公平感を招く要因になることから、現状のままとするものである。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] → 莫大な整備費を投じた漁業集落排水施設に多くの人々が接続してくれないと 大船渡湾の水質が保全できない。汲み取り便所からのハエ、排水の側溝への直接排水により公衆衛生上問題がある。 下水道使用料が伸び悩み漁業集落排水特別会計経営を圧迫する。以上の理由から、水洗化率の向上は漁業集落排水事業の至上命題である
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] → 戸建住宅、集合住宅、公民館等が対象者。 営利を目的とした事業所は除くのが適切であるから妥当 排水設備を設置するものしか対照としない。
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] → 向上余地: 漁業集落排水に接続していない世帯はあるので向上余地はある。 目標: 全世帯への接続が目標だが、大船渡市は供用開始区域内で2割程度で目標に達していない。 原因: 経済的困難、漁業集落排水事業への理解不足など。 排水設備工事の検査は検査自体は15～30分しかかからないが、車での移動時間が多い。それを短縮できる可能性がある。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] → を止めると、設備工事費用の負担増に繋がり、水洗化率向上の阻害要因となる。 下水道施設の適正な維持管理が不可能となる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (理由) → (具体的な手段、事務事業) 頻度の高い住民説明会、計画段階から工事実施段階、供用開始前後にかけて頻繁に住民説明会を行い住民の理解と協力を得る努力をする。 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] → 下水道と集落排水、合併浄化槽それぞれの事業を総称して汚水処理事業と呼ばれるが、すべて下水道事業所の事務所掌となっている <input type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] →
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] → について下水道利用可能な地域が拡大していくため減少させることはできない。 事業費なし
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] → は、排水設備工事確認申請と同時進行する事務であり、単純に水洗化率が上がっていくと事務量は増える。 条例で定められた工事の検査審査業務のため外部委託できない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] → 下水道利用可能な一般住宅や集合住宅では、制度を利用することは可能であり、公平である。 工事内容の適正を計るための審査検査なので公平である。

事務事業ID	1154	事務事業名	水洗化改造資金融資あっせん事業 (漁業集落排水施設)
--------	------	-------	-------------------------------

### 3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>水洗化率向上は漁業集落排水事業の至上命題であり、長期的な観点から事業全体の中でも重点的に行わなければならない事務である。しかし、施設整備、加入負担金徴収や排水設備工事検査など短期に結果を求められる事業に追われて十分に行えなかった。また、接続について法的拘束力も無く、有効な手法がないため、取り組みづらいものがある。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>地道で手間のかかる、住民説明会や家庭訪問を丹念に繰り返し行うほかないと思われる。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>市民がなぜ漁業集落排水事業を行っているのか理解していない面が強いと思われる。けして裕福な家庭を水洗トイレにするためではなく大船渡湾の水質の保全、生活環境を改善させるのが目的だということを地道に啓発していく必要がある。</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

### 4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	下水道事業所長	
-------	---------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>平成17年度より漁業集落排水施設整備事業においても本事業が適用され、公有水域、大船渡湾内の環境保全に寄与している。三陸地域でも適用になることから、今後の事業推進を図るうえで、より積極的な事業のPRを行う必要がある。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>排水設備工事と合せて高齢者、障害者にやさしいバリアフリー化への改築等も考えられることから、快適で安全、安心な生活の環境保全が図られる。今後融資斡旋、利子補給制度と組み合わせた新制度の構築も視野に入れ、検討する必要がある。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

### 5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
---------------------